



サイクス（SICS）は、産業情報支援センターの運営組織である、(株)西条産業情報支援センターの愛称です。

今回は、こだわりの農産物を作り発信している団体「西条名水ブランド生産組合」についてお知らせします。

水の都のいいものを全国に届けたい！



西条名水ブランド生産組合は、西条市内の生産者・加工業者合わせて29名で構成される生産者団体です。

今回は、地元では主に「周ちゃん広場」に出荷している鎌田農園の鎌田竹広さんに、名水ブランド生産組合（以下「名水ブランド」）での取り組みについてお話を伺いました。

■「農」との関わり

私は小学生のころから、父親の後を継いで農業に従事するのが夢でした。大学卒業後、農林水産省に勤め、在職中には「ジュニア・ベジタブル&フルーツマイスター（通称「野菜ソムリエ」）」の資格も取りました。昨年に秋に退官し、1月からは後継者として、本格的に農業に参加しています。

■名水ブランドの取り組み

鎌田農園は、平成17年に名水ブランドへ入会しました。



▲「モリタ屋」への出荷の様子

入会後の取り組みとしては大阪府高槻市の中堅スーパー「モリタ屋」への週1回の出荷や、首都圏の飲食店との直接取り引きなどを行っています。こうしたことにより、希望卸値での取り引きや、個人では対応しきれない販売先への営業活動の展開など、ビジネスチャンスが広がっているものと思っています。

「モリタ屋」で開催される西条フェアで対面販売を行ったり、首都圏でのイベントや展示会へも、組合員として積極的に参加しています。



▲西条産品を売り込む鎌田さん（左端）

また昨年から、西条産品の詰め合わせを「新鮮直行便」と名付け、消費者向けの宅配サービス「スタート」を提供しています。

故郷を離れて暮らす西条市出身の方や、郷土の味を贈りたい方などに利用されています。これから

■これからの展望

今後も、名水ブランドが「西条産品ここにあり！」と、首都圏に売り込むことのできる生産組合であり続けて欲しいと考えています。

また、地元でもまだまだ名水ブランドの活動を知らない



▲ふるさと旬「新鮮直行便」

生産者の方が多いので、多くの「こだわりの生産者」にこうした取り組みを知っていただきたいし、そうした仲間が増えることで、名水ブランドがよりいっそう切磋琢磨（せつさくたくま）される場になるものと思います。私自身も、息子が「農業をやってみたい！」と思ってくれるような、夢のある、そして後継者の育つ農業をめざして、これからも名水ブランドの一員として積極的に活動へ参加してまいります。

*名水ブランドの活動や、「新鮮直行便」についての問い合わせは、西条名水ブランド生産組合（産業情報支援センター内）まで。

TEL 0897-5310010
FAX 0897-5310011